





※1: 数値はすべて表層の値です。2: 調査地点は、沿岸東部 11 点は▲、沿岸西部 12 点は●で表示しています。

## 平成30年1月15日の水平分布状況(表層、実測値)



\* Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています

### 播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

播磨灘北部沿岸域では、前回の調査時よりも珪藻類の出現数は減少しています。東部海域を中心に、群体を形成する小型のキートセロスが確認されており、大量に発生すると栄養塩濃度の低下を招く恐れもありますのでご注意ください。また、ユーカンピアゾディアクスの出現数は減少していますが、再び増加する可能性もありますのでご注意ください。コスキノディスクスワレイシーは、北部全域で確認されていますが、栄養塩濃度の動向に大きな影響を与える数ではありません。

播磨灘北西部沿岸域では、表層のDIN濃度が低く、 $1\mu\text{mol/L}$ を下回っている海域があります。沖合及び東部海域のDIN濃度は、概ね $3\mu\text{mol/L}$ 以上を維持しています。季節風に伴って西方海域から貧栄養水塊の流入が想定されますので、今後の栄養塩濃度変化には十分ご注意ください。

大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年並か多いとされています。海域全体の短期的な栄養塩濃度の推移は、やや低下傾向と考えられます。

### 週間天気予報 気象庁1月15日16時32分発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間(1/16~1/22)の近畿地方は、北部では気圧の谷や寒気の影響で、雲が広がりやすく期間のはじめは雨の降る日があるでしょう。中部や南部では高気圧に覆われておおむね晴れますが、期間のはじめは低気圧や前線の影響で、雨の降る日がある見込みです。

最高気温、最低気温はともに、平年並か平年より高くかなり高い日があるでしょう。

降水量は、平年並か平年より多い見込みです。

### その他の情報

- ・岡山県の調査(1/10)では、日生沿岸でDIN(表層)が $1.0\mu\text{M}$ でした。大型珪藻のコスキノディスクスは $52\sim 90\text{cells/L}$ 、ユーカンピアは確認されませんでした。
- ・香川県の調査については、以下のURLから参照してください。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

※栄養塩の単位： $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

### 【今後の予定】

- ・平成30年4月上旬まで毎月3回程度(上・中・下旬)の発行を予定しています。
- ・次回は平成30年1月23日頃に発行予定です。
- \*この情報は、ホームページでも見ていただけます。以下のURLにパソコン等からアクセスして下さい。

<http://www.hyogo-suigi.jp/>